

第 2 部

“夢” 実現プロジェクト

■ 「“夢” 実現プロジェクト」とは

「すみだで暮らす人、働く人、訪れる人の夢や希望がかなえられている状態」を「すみだの夢」と定義しました。

「“夢”実現プロジェクト」とは、「すみだの夢」の実現に向けて、墨田区基本計画全体をけん引するプロジェクト事業のことです。

すみだの将来を見据えた「まちづくり」とそれを担う「ひとづくり」を軸に、さまざまな分野の施策を横断的に関連づけ、相乗的な効果を発揮できるように、基本計画の施策体系とは別に設定しました。

“夢”実現プロジェクトは、「暮らし続けたいまち」、「働き続けたいまち」、「訪れたいまち」の3つのプロジェクト事業と、それら事業をさらに発展させていくための「シティプロモーション戦略」から構成されています。

区民や事業者、地域で活動するさまざまな団体等と行政が「すみだの夢」を共有し、力を結集して、それぞれの役割を果たすことにより、その実現をめざします。

■ プロジェクトの重点取り組み期間

計画期間の前期5年(2016(平成28)年度～2020(平成32)年度)をプロジェクトに対して重点的に取り組む期間とします。なお、基本計画の改定の際に各プロジェクトの成果等を評価し、後期計画では、“すみだの夢”の実現をさらに推し進めていくこととします。

■ シティプロモーションとは

シティプロモーションとは、地域の魅力を発掘・創造して内外へと広め、イメージや認知度を高めるとともにブランド化を図ることで、定住性の向上や観光客の増加をめざす取り組みです。本区は、「人と人とのつながり」をテーマとし、区民・区内事業者・来街者などすみだに関わるすべての人々のつながりのなかで、区独自のブランド力をさらに磨き上げ、戦略的に情報発信し、シティプロモーションを展開します。

■ 「すみだの夢」の達成をはかる指標の設定

“夢”実現プロジェクトの推進による「すみだの夢」の達成状況をはかるため、次の指標を設定します。

● 「墨田区民であることを誇りに思う」区民の割合

現状値	目標値(平成32年度)
69.6%	75%

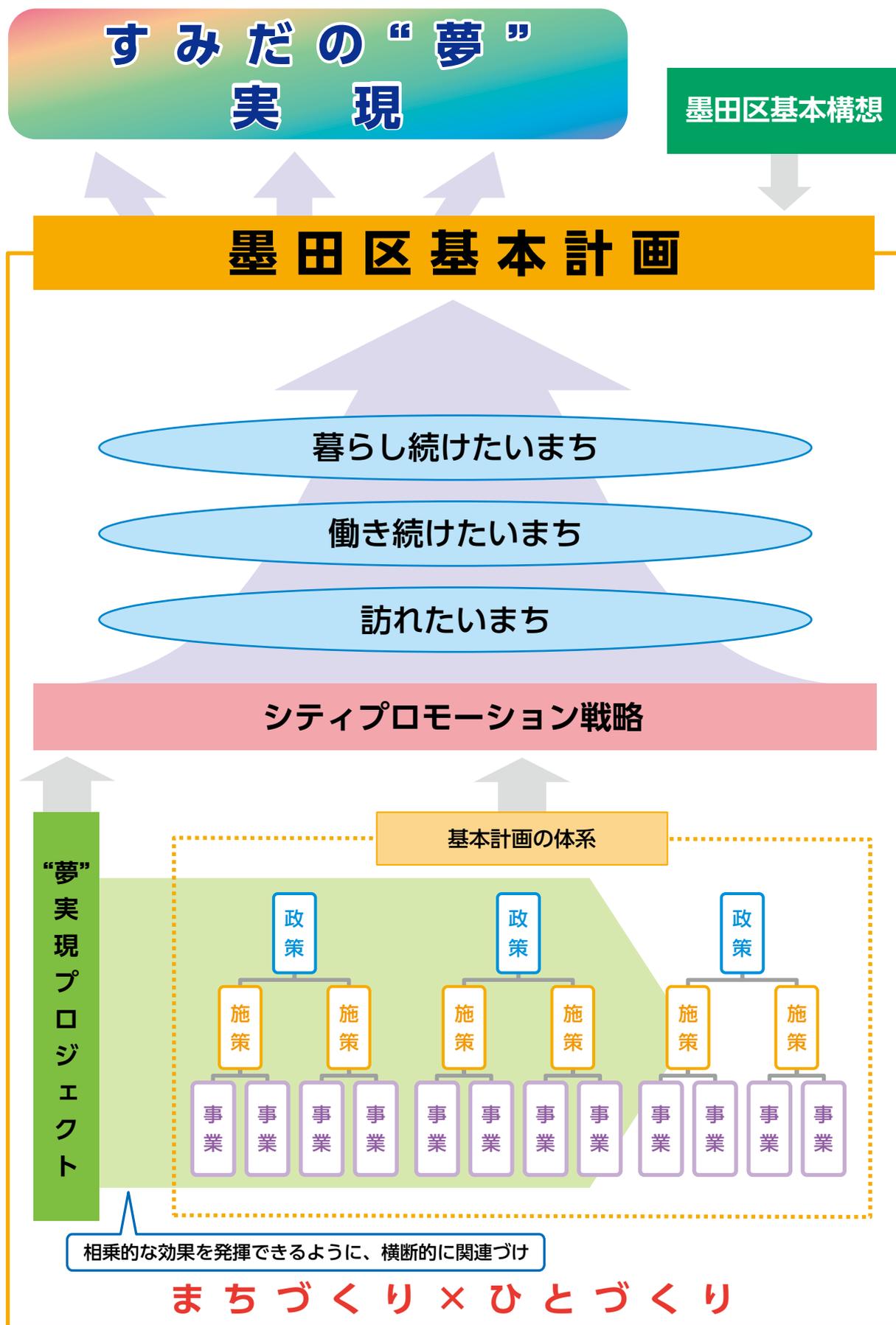
データ出所：区民アンケート調査

● 地域のブランド力の全国における評価順位

現状値	目標値(平成32年度)
140位	90位

データ出所：株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」

■ 「夢」実現プロジェクト」のイメージ



第2部 “夢”実現プロジェクト

“夢” 実現プロジェクト1

「暮らし続けたいまち」の実現

(1) 子ども・子育て支援を充実させ、笑顔があふれるまちをつくります！

■ 将来像

子育て環境が整備され、仕事と子育ての両立等、自分が思い描くライフスタイルで生活しながら、ゆとりをもって子育てできるまちになっています。また、子どもたちが安心して遊べる環境が整い、元気な子どもたちの声が弾む、活気あふれるまちになっています。

さらに、知(まなび)・徳(こころ)・体(からだ)のバランスがとれた教育を行うなかで、すみだの子どもたちが、将来、社会で活躍し、地域に貢献できる人に育つとともに、郷土に愛着と誇りを持ち、異文化を理解し、交流できる国際感覚のある人になっています。

■ 背景

2016(平成28)年3月に策定した「墨田区人口ビジョン」における人口動向分析によると、本区は人口の増加傾向が続く一方で、小さな子どもをもつファミリー層は転出超過傾向にあることが分かっています。日本全体で少子高齢化が一層進展していくなかで、今後もさまざまな世代が関わりあう活気あふれたまちであるためには、安心して子どもを産み育てられる環境を整備し、子育て世代が「住みたいまち」をつくる必要があります。

また、核家族化や地域のつながりの希薄化などが進むなか、家庭の教育力の低下が指摘されています。すべての子どもたちの未来への可能性を引き出すため、地域全体での取り組みが求められています。

■ 推進していくプロジェクト

1 子ども・子育て支援が徹底整備されたまちづくり

子育てしやすいまちの実現のため、妊婦や子育て家庭に必要な支援が届くよう、妊娠初期から出産後、就学まで、それぞれの期間に必要な子ども・子育て支援を切れ目なく行います。

【主な取り組み】

- 新生児訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問事業)
- 私立保育所等整備支援事業
- 子ども版地域包括センター(地域子育て支援拠点)事業
- 放課後子ども総合プラン推進事業
(学童クラブ、放課後子ども教室運営等)
- 児童館等整備事業((仮称)子ども未来館の整備等)



2 知・徳・体の充実を図る教育による将来のすみだを担うひとづくり

すみだで育つすべての児童・生徒が、自分の意思で夢を切り開くことができるようになるため、地域、家庭、学校が連携して、知・徳・体が充実する「すみだらしい教育」を展開します。

【主な取り組み】

- 学力向上「新すみだプラン」推進事業
- 幼保小中一貫教育推進事業(連携型)
- 学校ICT化推進事業
- 子どもの未来応援事業



3 緑豊かな公園など、子育てしやすい住環境づくり

子育てに適した住宅の整備誘導を行うとともに、暮らしにうるおいを与え、子どもを安心して遊ばせることができる公園などを整備することで、子育て世帯が地域のなかで安心して住み続けられる住環境をつくります。

【主な取り組み】

- 新住宅マスタープラン推進事業
- すみだ良質な集合住宅認定事業
- 江東内部河川整備事業
- 公園等新設・再整備事業



(2)地域力日本一の、住んでいてよかったまちをつくります！

■ 将来像

区民一人ひとりの自助・共助の意識が高まるとともに、燃えない・壊れないまちづくりが進み、災害対応力が向上しています。また、困ったときに相談できる環境が整い、地域の支えあいのなかで、誰もが安心して暮らしています。そして、地域コミュニティの多様な担い手によって、地域で活発な活動が行われることで、誰もが地域のなかでいきいきと生活を送っている「地域力日本一」のまちになっています。

■ 背景

2013(平成25)年の国の発表によると、マグニチュード7クラスの東京都区部直下の地震発生確率は30年間で70%とされており、災害に弱い地域特性を有している本区においては、今後さらに防災・減災に向けた取り組みを推進する必要があります。

また、高齢化がますます進行していくなかで、誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らせるしくみづくりが求められています。

これら多様化する地域課題を解決していくためには、地域コミュニティを強化・充実させ、「地域力」をさらに高めていくことが重要です。

■ 推進していくプロジェクト

1 災害に強い安全・安心なまちづくり

多様な主体の連携による地域の災害対応力を高めていくとともに、建築物の不燃化や耐震化等を促進し、ソフト・ハード両面からの安全・安心なまちづくりを進めます。

【主な取り組み】

- 不燃化促進事業
- 耐震化促進事業
- 鐘ヶ淵周辺地区まちづくり事業
- 住宅市街地総合整備(密集型)事業(北部中央地区)
- 細街路拡幅整備事業
- 橋梁架替え・再整備事業



2 誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり

誰もが住みなれた地域でいきがいをもちながら、安心して暮らし続けられるように、高齢者や障害者等、支援を必要とする人にさまざまな福祉サービスの提供等を行います。

【主な取り組み】

- 成年後見制度利用支援事業
- セカンドステージ支援事業
- 地域包括ケア推進事業
- 高齢者支援総合センター運営事業
- 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- 区独自の障害福祉サービス事業
- 障害者差別解消法への対応事業
- 新保健センター整備事業



3 地域力を高めるコミュニティとひとづくり

地域コミュニティの多様な担い手の確保に向けて、人材・団体を発掘・育成するとともに、それら人材等が連携するしくみづくりを進め、地域力のさらなる充実を図ります。

【主な取り組み】

- 地域力育成・支援事業
- 住民防災組織等の育成事業
- 学校防災活動推進事業
- 防災行政無線システム再構築事業
- 地域連携見守り事業
- ヘルス&マナーコミュニティ推進事業



“夢” 実現プロジェクト2

「働き続けたいまち」の実現

活躍したい人が、輝くチャンスをつかめるまちをつくります！

■ 将来像

すみだの産業に関わる人たちが、自身の技術力向上や積極経営に取り組み、いきいきと働いています。こうしたなかで、新規創業が増加し、既存事業者と新規創業者の交流によって、産業が一層活性化したまちとなっています。また、女性や若者、高齢者等、誰もが自分の希望するワークスタイルで働き、充実した生活を送っています。

■ 背景

全国でも有数の中小企業の集積地である本区においても、近年では事業者数の減少が進み、区内工場数は最盛期の3分の1を下回っています。今後も本区が「ものづくりのまち」であり続けるためには、技術・技能を次の世代に承継していくとともに、新たな時代に対応した展開が必要です。また、製品開発等に積極的に取り組む事業者や、果敢に新規創業に取り組むベンチャー企業も見られることから、このようなすみだの産業の活性化につながる動きを一層支援・推進していくことが求められます。

一方、人口減少社会の到来により労働者の減少が予想されるなか、働きながら子育てできるしくみや、若者の就業意欲の醸成、また、経験豊かな高齢者が活躍できる場の提供等、このまちで働いてみたい、そして働き続けたいと考える人が区内で活躍できる環境づくりが求められています。

■ 推進していくプロジェクト

1 新たなビジネスが生まれ、活発な交流が進むまちづくり

すみだの産業に関わる人がいきいきと働くことができるように、新分野への展開や市場性の高い製品開発の支援、デザイナーを始めとする異分野との交流促進等を行い、産業をさらに活性化して、「ものづくりのまち すみだ」を次の世代につないでいきます。

【主な取り組み】

- フロンティアすみだ塾事業
- 新分野への参入促進支援事業
- 地域内事業承継支援事業
- 創業支援ネットワーク事業
- 新ものづくり創出拠点整備事業
- 地域ブランド戦略推進事業
- 地域力を育む商業空間づくり振興プラン推進事業



2 ワーク・ライフ・バランスを実現し、女性も男性も輝き、活躍できるまちづくり

区民や区内企業のワーク・ライフ・バランスに対する理解を深め、希望に応じて家庭と仕事、その他さまざまな活動に取り組むことができる環境づくりを推進します。また、「イクボス[※]」の理念を区内企業に発信し、それぞれの状況に応じた取り組みを支援します。

※ イクボスとは、職場でともに働くスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、みずからも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことを指します。墨田区長も2015(平成27)年に23区で初めて「イクボス宣言」を行いました。

【主な取り組み】

- 女性の再就職支援セミナー事業
- 女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランス推進事業



3 夢をかなえたい若者や、元気な高齢者・障害者が活躍できるまちづくり

若者や元気な高齢者・障害者等に対して、さまざまな支援を行い、働きたい人が就労できる環境づくりを進めます。また、子どもたちが「働くこと」について考えるきっかけを提供するとともに、本区の産業への興味をもつきっかけづくりを行います。

【主な取り組み】

- 就職支援コーナーすみだ事業
- 若年者就職サポート事業
- セカンドステージ支援事業【再掲】
- 公益社団法人墨田区シルバー人材センター運営支援事業
- 障害者就労支援事業
- 福祉作業所等経営ネットワーク支援事業
- 次世代ものづくりすみだプロジェクト事業
- 民間事業者と連携した職場体験事業(アウトオブキッズニア in すみだ)



“夢” 実現プロジェクト3

「訪れたいまち」の実現

さまざまな交流が生まれる、憧れのまちをつくります！

■ 将来像

すみだならではの歴史や文化、景観等が織りなす「まちの魅力」で、世界中の人が「一度は訪れたい」と思い、訪れた人は「また来たい」と感じる、「国際文化観光都市」になっています。また、「おもてなしの心」による「ひとの魅力」で、まち歩き観光を楽しむ人があふれるにぎわいのあるまちになっています。

■ 背景

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を控え、本区への国内外からの観光客のさらなる増加が予想され、来街者への「おもてなし」を推進する取り組みを充実させていく必要があります。また、まちの魅力をさらに高めるため、本区の特徴である「ものづくり」を活かした、観光と産業を結びつける取り組みも重要です。さらに、すみだ北斎美術館や刀剣博物館、江戸東京博物館、たばこと塩の博物館、郵政博物館等、本区はさまざまな美術館・博物館の集積地となることから、文化の薫る、魅力をつなぐしくみづくりが求められています。

■ 推進していくプロジェクト

1 誰もが安心してまち歩きを楽しめる国際的なまちづくり

歩行者空間の整備、区内に点在する美術館等をつなぐ「美術館・博物館プロムナード」の構築や、豊かな水辺を活用した魅力の向上等、誰もが安心してまち歩きを楽しみながら、区内の至るところで「すみだらしさ」にふれることのできるまちづくりを進めます。

【主な取り組み】

- すみだ北斎美術館事業
- 美術館・博物館等観光ネットワーク構築事業
- 両国観光まちづくりランドデザイン推進事業
- 水辺を活用した舟運事業
- 道路バリアフリー等整備事業
- 主要道路景観整備事業
- 情報インフラ整備事業



2 観光とものづくりが融合したまちづくり

「ものづくり」を観光資源として活用し、職人の技術にふれる機会や、区内企業の高い技術力に基づいた製品等、このまちでしか味わえない魅力的なものづくり観光を来街者に提供します。

【主な取り組み】

- 3M(スリーエム)運動等と連動した「ものづくり観光」推進事業
- 地域ブランド戦略推進事業【再掲】
- すみだファクトリーめぐり(スミファ)事業



3 「おもてなしの心」を育むまち・ひとづくり

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、来街者をおもてなしの心で迎える体制をつくり、その担い手を育成します。また、交流イベント等を実施し、区民と来街者が交流を楽しむことができる環境をつくります。

【主な取り組み】

- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成事業
- 次世代の観光まちづくりの担い手育成事業
- 観光案内所の機能強化事業
- 情報インフラ整備事業【再掲】
- ユニバーサルツーリズム推進事業
- 体力向上・オリンピック教育推進事業



シティプロモーション戦略

効果的なシティプロモーションで「すみだの魅力」を発信し、
多くの人々が「つながる」まちをつくります！

■ 将来像

多様な主体と行政との協働による魅力的な情報発信が活発に行われ、すみだのイメージと認知度が向上することで、区民のまちに対する「愛着」と「誇り」が生まれ、区外の人々からの「共感」や「憧れ」が生まれています。これらが、すみだのシティプロモーションを展開する原動力となり、「暮らし続けたい、働き続けたい、訪れたいまち」をますます発展させ、多くの「人と人とのつながり」が輝くまちになっています。

■ 推進していくプロジェクト

1 まちへの愛着、誇りを育むまちづくり

すみだのもつ資源を掘り起こすとともに、新たな魅力を創造することで、区民や区内事業者など、すみだで暮らし、活動する人々の愛着と誇りを育みます。

【主な取り組み】

- すみだ北斎美術館事業【再掲】
- 旧安田庭園再整備事業
- 美術館・博物館等観光ネットワーク構築事業【再掲】
- すみだ地域学セミナー事業
- すみだ3M運動推進事業
- 両国観光まちづくりランドデザイン推進事業【再掲】
- 大学誘致推進事業



2 区外からの共感や憧れを生むまちづくり

機会をとらえた効果的・戦略的な情報発信によって、すみだの魅力を国内外に広め、区外の人々のすみだに対する共感を生み、憧れを高める取り組みを展開します。

【主な取り組み】

- 地域ブランド戦略推進事業【再掲】
- 海外での観光プロモーション事業
- 他地域との広域連携による観光プロモーション事業
- 国際交流推進事業
- 水辺を活用した舟運事業【再掲】



3 みずからシティプロモーションを担うひとづくり

区民をはじめとしたすみだに関わるすべての人が、当事者としてまちをよりよく発展させていく活動に携わるしくみをつくり、愛着と誇り、憧れなどを原動力にしたシティプロモーションを展開します。

【主な取り組み】

- シティプロモーション展開事業
- 地域力育成・支援事業【再掲】
- タウンミーティング事業
- 区民等とのコラボレーションによる区報制作事業
- 職員のPR力向上事業
- 次世代の観光まちづくりの担い手育成事業【再掲】



■ 具体的な情報発信

1 アカウンタビリティ型広報

区が説明責任を果たすことに重点を置いた従来の情報発信を進化させ、区政にさらに関心を持ってもらうことを重視し、区民との協働やコミュニケーションを意識した広報活動を行います。

【主な取り組み】

- 区民や中高生とのコラボレーションによる区報の作成
- 区報のリニューアル

2 マーケティング型広報

社会情勢や住民意識等、区政を取り巻く環境を的確に判断し、時流を捉えた戦略的な情報発信によって、区の認知度向上とイメージアップを図ります。

【主な取り組み】

- 友好都市との相互情報発信
- パブリシティ活動の強化

3 リスクマネジメント型広報

リスク発生時における組織連携や、情報発信ルール等を構築し、適時・的確な情報提供によって、区政の透明性と信頼性の向上を図ります。

【主な取り組み】

- 危機管理広報マニュアルの見直し